



軸となる取組・活動1「豊かな心の育成」

<p><b>義務教育卒業時につけたい力</b>＜豊かな心の育成＞</p> <p>○京北の大自然を愛し、地域や保護者の見守りを感じ取ることが出来る力</p> <p>○自尊感情を持ち、友達や周りの人との関係・コミュニケーションを大切に出来る力</p>								
<p><b>学年または学年区分ごとにめざす姿</b></p>								
1 st stage				2 nd stage			3 rd stage	
<p>●京北に対する愛着を持ち、地域で育つ喜びを感じる</p> <p>●誰とでも仲良くし、自分の良さを大切にする</p> <p>●周りの人への思いやりやはたらきかけが出来る</p>				<p>●京北の良さを様々な場面で発信できる</p> <p>●自分と違う考えや意見に耳を傾け、解決していくためのコミュニケーション力が持っている</p>			<p>●社会における自らの役割や将来の生き方・働き方を考え、進路の選択・決定をすることが出来る</p> <p>●自らの生き方の中で、京北の課題や未来の姿を構想し、京北地域の活性化に貢献しようとする</p>	
小 1 （1年）	小 2 （2年）	小 3 （3年）	小 4 （4年）	小 5 （5年）	小 6 （6年）	中 1 （7年）	中 2 （8年）	中 3 （9年）
<p><b>取組・活動</b></p> <p>＜京北第一小学校の取組＞</p> <p>○道徳の授業で扱った主題名、内容項目、教材名をカードに記し、四つの視点にわけた台紙に貼る取組を行う。</p> <p>毎週の道徳の時間を大切にし、道徳における重点目標を意識しながら 35 時間確実に授業を行えるようにする。</p> <p>○道徳の授業で使用した教材に関する指導案やフラッシュカード、挿絵などをまとめ、今後の授業に生かせるようにストックする。</p> <p>＜京北第二小学校の取組＞</p> <p>○たてわりを活かした、掃除・遊びなどの色別活動を通して、学年・男女を問わず仲良く協力することが出来るようにする。</p> <p>＜京北第三小学校の取組＞</p> <p>○体験活動や地域の自然・人々とのふれあいを通じて視野を広げるとともに、地域の一員としての自覚を高め、人の役に立つ実体験を重ね、豊かな地域社会を築こうとする自立心とたくましい実践力を持った児童の育成に努める。</p> <p>○「なかよしタイム」を活用し、他学年との交流の場で心身の調和のとれた発達を図り、実践的な態度を育てる。</p> <p>○道徳に関する指導案や資料などをまとめ、次年度に他の担任が授業に生かせるようにストックする。</p>						<p>＜周山中学校の取組＞</p> <p>＊立志式を開催し、自らの生き方を自覚させる</p> <p>＊進路学習・高校調べ学習などを通して、自らの生き方や進路について考えさせる</p> <p>＊ファイナンスパーク学習・生き方探究チャレンジ体験などを通して、キャリア教育を進める</p>		
						<p>＜中学校ブロックとしての共通の取組＞</p> <p>★京北を題材とした道徳教材を活用・開発し、京北への愛着・京北で暮らす人々への思い・京北の良さや課題などを常に意識できるような取り組みを進める</p> <p>★各小中学校で、それぞれ道徳の研究授業を行い、よりよい道徳教育を研究すると共に、小中が連携した道徳教育のあり方を研究する。本年度に関しては、京北第一小学校が、文部科学省の道徳教育の研究指定を受けたこともあり、京北第一小学校の全学年の道徳研究授業を中心に、研修を進める。</p> <p>★京北地域に数多く存在する文化的・人的・自然の財産を活用し、ゲストティーチャーを招いたり、地域の取り組みと連携したりして、児童・生徒の京北に対する理解や主体性を育てることで、京北の課題や進むべき方向性を自らの生き方の中で考えさせる取り組みを進める</p> <p>★三小学校合同の行事や授業、あるいは中学校との合同の行事などを多く設定し、これまで学んだことを活用して他者に発信していく力を育てると共に、他校の前で発表したりすることで表現力やコミュニケーション能力の育成を図る</p>		
<p>＜小中一貫校創設に向けた取組＞</p> <p>●中学校の生徒会リーダー講習会・音楽祭などに小学生の参加を企画し、 9 年間の学びの中で豊かな心の育成を目指す。</p> <p>●小中一貫教育プロジェクト「道徳教育部会」において、小中一貫を見通した道徳教育のあり方、評価方法など連携を推進する。</p> <p>●小中一貫教育プロジェクト「学力部会」において改訂を進めている「京北学びの手引き」を中心に、京北 9 年間を見通した学びのルールやモラル・マナーなどの統一をはかる。</p> <p>●教職員自らが京北の良さや現状を知るため、 4 校合同の研修会でフィールドワークや講演会などを企画し、見識を深める</p>								